

第5学年*組 体育科学習指導案

指導者 柳瀬 武史

1 単元名 「ダブルキャッチバレーボール」(ボール運動, ネット型)

2 目標

- 運動に進んで取り組み, ルールを守り助け合って運動したり, 場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。(運動への関心・意欲・態度)
- ルールを工夫したり, 自分のチームの特徴に合った作戦を立てたりすることができる。(運動についての思考・判断)
- サービスやアタック, レシーブ(パス)など, 簡易化されたゲームでチームの連係による攻撃や守備をするための動きができるようにする(運動の技能)

3 指導にあたって(男子*人, 女子*人)

本学級の児童は男女とも活発で, 休み時間には多くの児童がボールを使った遊びに慣れ親しんでいる。しかし, 以前に行ったバスケットボールの授業では, 進んでシュートを行う一部児童がいた反面, ボールを持ったまま立ち尽くす児童などが散見された。これらの実態から, 直面する状況場面に即してどういったプレーをすべきか適切に判断できるよう指導する必要があると考えた。

ダブルキャッチバレーボールとはネット型の教材で, ソフトバレーボールを基に簡易化したゲームである。ネット型では, 相手チームがラリーを続けられないように, 攻撃してプレーを断ち切る所に競い合いの楽しさがある。その点, 本教材はボール操作の制限を緩和することで味方とボールをつなげたり, 相手が受け取りにくいボールを打ち返したりしやすいので, 戦術的な動きや作戦を学習内容として取り上げることが可能である。

そこで, 本単元ではプレー原則表の活用を進めていく。プレー原則表とは, 特定のゲーム状況場面で直面する課題を解決するための原則のことで, プレーを行う上での指針を知的学習内容として位置付けたものである。特に, 相手コートからボールが返球されてからアタックを打ち返すまでの攻撃を取り上げ, どのような基準のもとにプレーするのが望ましいかについて, 単元の学習全体を通して指導していく。また, 原則表で学んだ知的内容を実際のゲームで技能発揮できるようにするため, メインゲームの工夫も行う。相手から返球されたボールをセットしてアタックするという, 意図的なセットを経由した攻撃をネット型の学習課題と捉え, ルールなどを工夫する。ゲームを通じて, できることと分かることが密接に関連付くよう指導していきたい。

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動に即した評価規準	① 練習やゲームなどを通して競い合う楽しさに触れることができるよう, ◎常に進んで運動に取り組もうとしている。 ② ルールやマナーを守り, 友達と助け合って◎進んで練習やゲームをしようとしている。 ③ 運動する場を整備したり, 用具の安全を保持したりすることに◎常に気を配ろうとしている。	① ダブルキャッチバレーボールの行い方を知るとともに, 簡易化されたゲームを行うためのルールを◎適切に選んでいる。 ② ゲームでの攻め方を知るとともに, 自分のチームの◎特徴を生かして作戦を立てている。	① 自陣コート中央付近から, 相手コートに向けて◎安定してサービスを打ち入れることができる。 ② 味方が受けやすいようにボールをつないだり, 相手コートにボールを打ち返したり◎安定して行うことができる。 ③ ボールの方向に体を向けて, ◎タイミングよくその方向に素早く移動することができる。

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（7時間扱い）

段階	時間	本時のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の特性やねらいを知る。 ○ 学習の進め方やゲームの行い方を知る。 <ol style="list-style-type: none"> 1 運動の特性やねらいを知る。 2 学習の進め方とチーム編成を知る。 3 ルールやマナーを確認する。 4 準備運動，試しのゲームをする。 5 片付け，整列，整運動，健康観察を行う。 6 本時の学習内容を振り返る。 	②		
なか1 ×3	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ レシーブやセット，アタックなどの動きを使い，練習やゲームに慣れる。 ○ ルールやゲームの行い方を確かめるとともに，味方とボールをつないで攻撃する。 		①	
	3	<ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 準備運動とドリルゲームをする。 			①
	4	<ol style="list-style-type: none"> 4 タスクゲームをする。 5 作戦タイムⅠとゲームⅠをする。 6 片付け，整列，整理運動，健康観察を行う。 7 本時の学習内容を振り返る。 	①		
なか2 ×2	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習してきた内容を生かして，練習やゲームを行う。 ○ 作戦をゲームで試し，その結果を振り返りながら，チームの特徴に応じた作戦を立てる。 <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 準備運動とドリルゲームをする。 	③	②	
	⑥	<ol style="list-style-type: none"> 4 作戦タイムⅠとゲームⅠをする。 5 作戦タイムⅡとゲームⅡをする。 6 片付け，整列，整理運動，健康観察を行う。 7 本時の学習内容を振り返る。 	①		③
まとめ	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちで立てた作戦をゲームで使いながら連携した攻撃を行い，まとめのバレーボール大会を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1 整列，挨拶，健康観察をする。 2 本時のねらいと学習内容を確認する。 3 準備運動とドリルゲームをする。 4 トーナメント戦によるバレーボール大会を行う。 5 整理運動，健康観察，片付けをする。 			②

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- 練習やゲームなどを通して競い合う楽しさに触れることができるよう、進んで運動に取り組もうとしている。(運動への関心・意欲・態度①)
- ◎ ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。

(運動の技能③)

(2) 準備・資料

ボール, 学習カード, 掲示用単元学習計画, 掲示用作戦カード, 対戦表, チーム用作戦ボード, コーン, ホワイトボード, タイマー, 得点板

(3) 展開 (6 / 7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 14分	1 整列, 挨拶, 健康観察をする。 2 本時のねらいと学習内容を 確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 自分たちのチームに合った 作戦を立て, 息の合った攻撃を しよう。 </div> 3 準備運動とドリルゲームを する。(下投げトス→1対1でのワンバ ウンドキャッチ→アタックなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに集合させ, 元気に挨拶できるようにする。 ・学習資料などを示しながら本時のねらいを伝え, 各自のめあてを確認する。 ・準備運動を通して, 各部位を十分に伸ばしているか確認する。 ・楽しい雰囲気の中で運動に取り組めるようにする。 	
なか 24分	4 作戦タイムⅠをする。(4分) (1) 作戦ボードを使って, 攻撃の方法を確認する。 ① ボールをつなぐタイミング ② アタックの打ち方 5 ゲームⅠをする。(8分) ・6チームが2チームずつ3コートに分かれてのゲーム 6 作戦タイムⅡをする。(4分) (1) 作戦の成否を確認する。 (2) 自分たちのチームに合う作戦となるよう修正する。 7 ゲームⅡをする。(8分) ・対戦していないチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・プレー原則表を使い, 役割分担を具体的に確認できるようにする。 ・ローテーションでベンチ待機している児童に対し, 味方へ声を掛けるよう助言し, 攻撃方法への理解が深まるようにする。 ◇ボールに正対しながらレシーブやセットなどを行えばよいことを伝える, ◇アタックのタイミングについては, 掲示資料を用いて, 味方がレシーブした場面から準備動作をしておくよう助言する。	〈関心・意欲・態度①〉 ・練習やゲームなどを通して競い合う楽しさに触れることができるよう, 進んで運動に取り組もうとしている。 (観察, 学習カード) 〈技能③〉 ・ボールの方向に体を向けて, その方向に素早く移動することができる。 (観察)
まとめ 7分	8 片付け, 整列, 整理運動, 健康観察を行う。 9 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに整理運動できるように支援する。 ・本時の活動の反省などを学習カードに記入できるようにする。 ・本時の活動のよかった所を発表できるように支援したり, 称賛したりする。 	

◇は努力を要する状況にある児童への手立て